

産業建設常任委員会
所管事務調査資料
(令和8年7月29日)

(事務調査)

- ③ エゾシカ簡易埋設管実証試験の実施状況について

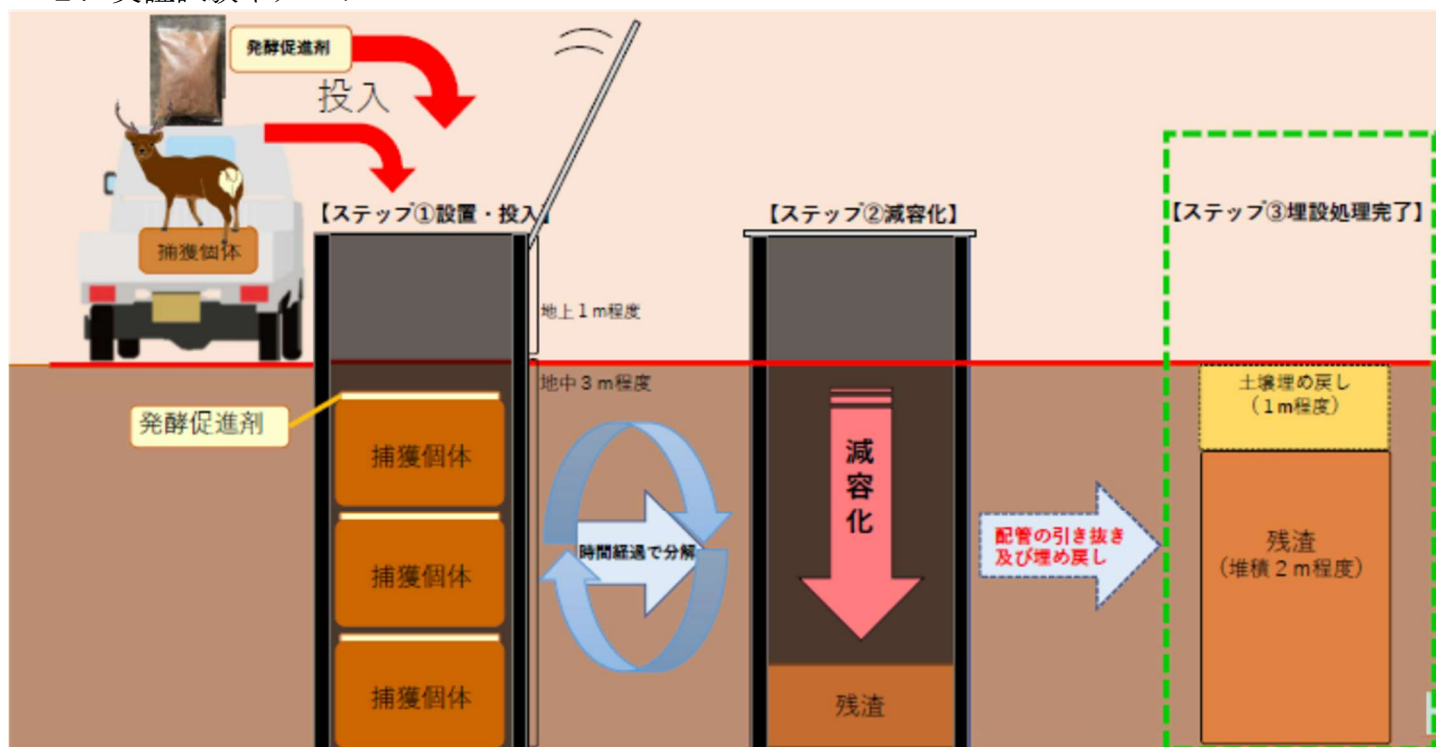
産業経済課農業グループ

エゾシカ簡易埋設管実証試験の実施状況について

1. 整備等の概要

事業名	令和7年度鳥獣被害防止総合対策事業 (事業実施主体：厚真町鳥獣被害防止対策協議会)
事業の目的	現場埋設の前処理としてエゾシカ捕獲連携事業の実施地区内に大型排水管(直径1m、長さ5m)を縦置きで埋設し、その中に捕獲個体と発酵促進剤(ぼかし剤)を投入し、自然分解により減容化する実証試験に取り組む。
整備の概要	着工：令和8年3月6日 完成：令和8年3月11日 ※運用開始：令和8年5月8日
事業費	726,000千円 ※全額補助金(定額補助100万円以内)

2. 実証試験イメージ



3. エゾシカ捕獲個体の処理状況

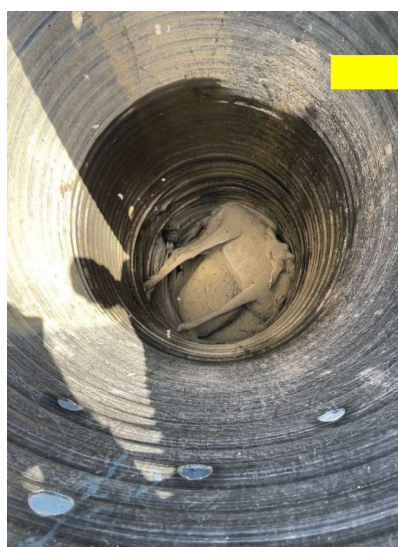
処理個体は、時間の経過とともに分解が進み、かさ高も減少していることを確認。
 (発酵促進と臭い消し効果を期待して、1頭あたり 500 g 程度のボカシを投入。)

	5/18	6/4	6/11	7/1
類型処理頭数	8	17	17	17
かさ高 (cm)	160	250	200	180

(設置した埋設管)



(埋設管内部の状況)



・ボカシと共に個体を投入
 (6/4)

・減容化が進み骨が見える
 (7/1)

4. 実証試験開始から現在までの確認事項

(確認できた内容)

- ・自然分解により減容化した
- ・一度に複数の個体を投入すると、スムーズに減容が進まない
- ・無臭ではないが、最も臭いを感じた時期でも半径 5 m 程度の範囲であった
- ・野生動物に掘り返されることがなかった
- ・臭いでクマが誘引されたこともあったが、執着することはなかった

(今後引き続き確認したい内容)

- ・継続して投入するためには、簡易埋設管を複数基設置したローテーション
- ・埋設管を抜き取り、新たに埋め戻す作業のコスト